

住まいに関するご相談をお受けしています

相談専用電話：06-6242-1177

住まいの一般相談(随時/面接相談・電話相談)

住まいを借りるときや購入する際の質問、分譲マンション管理、および大阪市を中心とした公的な住宅施策などに関する質問に対して、相談員が面接または電話で対応します。英語、中国語、韓国・朝鮮語にも対応します(外国語対応は17時まで)。

住まいの専門家相談(予約制/面接相談)(予約は1ヶ月前からお受けしています。)

お申し込みに際しては、相談員が一般相談で内容をうかがってから予約します。日程が変更になる場合がありますので、ご確認ください。

専門家相談日時	内容	
資金計画	隔週土曜日[10時30分~12時]	住宅取得やローン返済の資金計画等(ファイナンシャルプランナー)
建築・リフォーム	隔週土曜日[10時~13時]	建築設計や施工上の問題・建築関係法令等(建築士)
法律	概ね毎週土曜日[10時~13時30分]	借家・借地・土地・建物・相続等に関する法律上の相談(弁護士)
分譲マンション(法律)	概ね月1回日曜日[13時~16時]	管理組合運営・管理規約等に関する法律上の相談(弁護士)
分譲マンション(管理一般)	概ね週1回木曜日[14時~18時]	管理組合運営・管理規約・長期修繕計画等に関する相談(マンション管理士)

●相談に関する秘密は厳守します。●係争中の案件や営利目的の相談、トラブルのあっせん・仲裁、賃貸住宅の経営に関する相談等、当センターで対応できかねるものは、他の相談機関等の情報を提供します。●専門家相談は、大阪府に在住、在勤または在学の方を対象とします。専門分野ごとに年1回までとさせていただきます(分譲マンション(管理一般)を除く)。

連携機関による定期相談

- 大阪府建築士会による建築相談…毎週日曜日 13時~16時(受付は12時30分~)
- 大阪府宅建協会による不動産無料相談…第1・第3月曜日(祝日・協会指定日を除く) 13時~16時(06-6943-0621で予約受付)
- 近畿税理士会による税務相談…毎週土曜日(但し、2・3月を除く) 13時~16時(06-6242-1177で予約受付)

住まい・大阪に関するセミナーやイベントを開催しています

詳しくは本誌10ページをご参照ください。

大阪市での住まい探いをサポートします

大阪市内の公的住宅のほかUR都市機構の賃貸住宅や大阪府住宅建協会の民間住宅の情報を提供しています。

住まい情報センター(住情報プラザ4F)開館情報

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 4階

■開館時間 平日・土曜 9時~19時 / 日曜・祝日 10時~17時

■休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、
祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く)、年末年始

4月~6月の休館日	4月2日、9日、16日、23日、30日 5月4日、7日、14日、21日、28日 6月4日、11日、18日、25日
-----------	--

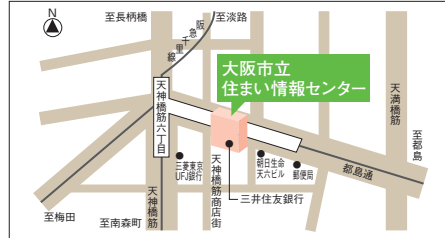
住まいのライブラリーがあります

「住まい」と「大阪」に関する図書を集めたライブラリーがあります。図書の貸し出しも行っていきます。



大阪くらしの今昔館があります

詳しくは本誌9ページをご参照ください。
※住まい情報センター(住情報プラザ4F)と開館日時が異なります。



地下鉄谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅3号出口



以下、広告です。広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。「広告掲載」のお問い合わせは、大阪市立住まい情報センター TEL: 06-6242-1160

大改造 劇的ビフォーアフターの匠による魅力の再生

コンパス建築工房は、25年間にわたり住宅・集合住宅・店舗・幼稚園などの設計を手がける一級建築士事務所、大阪を拠点とし多くの物件の実績を有します。代表の西濱浩次は朝日放送の「大改造!! 劇的ビフォー・アフター」の匠として4度出演しており、現在も新築だけではなくリフォームやビルの大規模改修にも力を入れ、各地で「魅力の再生」プロジェクトを進めています。リフォームやマンション・ビルの大規模改修、その他建築に関するあらゆるご相談はお気軽にご連絡下さい。



株式会社コンパス建築工房

〒534-0022 大阪市都島区都島中通3-5-17

住宅・マンション リフォーム

快適でオリジナルな生活空間づくり
例:築23年のマンションリフォーム



ビル・マンション 大規模改修

デザイン力で資産価値を取り戻す
例:古いアパートを改修して満室に!



☎ 06-4253-5683

🌐 <http://compas-ao.com/>

無料相談のご予約、事例集・資料請求は電話、ホームページよりお気軽にお問い合わせ下さい。

あんじゅ
A N G E

“あんじゅ”は、「安心して快適な住生活をいとなむ」ための情報誌です。
また、フランス語でAngeは「天使」という意味。よりよい暮らしを運んでくれる幸せの象徴をイメージしています。

volume
54
2013年 春号

特集
「学ぼうくら」
大阪市立住まい情報センター 平成24年度シンポジウム



住まいの基礎知識
地震に備える
「家具の転倒防止策」

大阪くらしの今昔館NEWS
十二月月図 紙本墨画淡彩

大阪くらしの今昔館
今や今昔館は国際的観光スポット(?)
外国人を惹きつける「着物体験」を支える町家衆の活躍

大阪市住まいのガイド
借りる・買う・建てる・建て替える
各種住宅施策のご案内

〈今月の表紙〉
安治川水門
高潮から住民の生活圏を守るために市内に流れ込む三川(安治川、尻無川、木津川)の下流域には、アーチ型の防潮水門が設けられています。

あんじゅは、春・夏・秋・冬に発行します。次号は平成25年7月1日発行です。

あんじゅ Vol.54 2013年春号 平成25年3月31日発行 ■発行・編集 大阪市立住まい情報センター指定管理者 大阪市住宅供給公社・アクティオ・京都科学共同事業体(代表者:大阪市住宅供給公社) ☎06-6242-1160 〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20

「学ぼうさい」

大阪市立住まい情報センター
平成24年度シンポジウム

災害時に正しく判断・行動できるように日頃から学びながら備えていこうと、昨年11月25日、大阪市立住まい情報センターでシンポジウム「学ぼうさい」が行われました。防災・減災のコツが詰まった坂本廣子さんの基調講演、楽しい防災教育のあり方などを紹介した永田宏和さんのミニワークショップに続き、災害を体験したり知識を吸収するサバイバルラリーに参加者は積極的に参加。防災に対する関心の高さがうかがえました。



第1部

基調講演 「地域が助かる 地域で助ける がんばらない台所からの減災術」

坂本 廣子氏

「自助」と「共助」の準備を



相愛大学客員教授、キッズキッチン協会副会長、農林水産技術会議委員、サカモトキッチンスタジオ主宰
http://www.004.upp.so-net.ne.jp/skskobe/

大災害が起きた時に失うのは「日常」です。晩ごはんをつくらうと思って、買い物をする市場が壊れた、料理をするための水も電気もガスもない…。「ごはん指数」と呼んでいるのですが、ごはんに代表される日常が消えるのです。壊れたライフラインや建物を修復する一方で、どうすれば「地域の中の普通の暮らし」を取り戻せるのか、今日は身近な台所からの減災術を考えていきましょう。

どんな場合でも、何より大切なのは生きること。災害時のライフセービングには「自助」「共助」「公助」があります。自治体や消防署、警察などは一生懸命動いてくれますが、被災地にいる市民は多すぎて、すべてには行き渡りません。ですから公助はないものと思っておき、自分で備える「自助」、地域で助け合う「共助」を準備しておいた方が日常を早く取り戻しやすくなります。

命を守るために日頃から訓練しておきたいのは心肺蘇生法(CPR)。最近では身近でAED(自動体外式除細動器)が設置



熱心に聴き入る聴衆

されるようになりました。病院や消防署、区役所などで使い方を学習する機会もあります。体験しておけばいざという時に役立ちます。

内閣府の防災情報ページ(www.bousai.go.jp)やお住まいの自治体のホームページも日頃から目を通しておきましょう。

水と安全の確保を

飲料水は1人あたり1日2リットルが必要です。ライフラインが止まると水の確保や運搬が大変に。バケツやペールを用意しておくか、ガムテープで補強したダンボール箱にポリ袋を入れ、水を運びます。水は20リットルではほぼ20kgと重いので、20リットルバケツを1個よりも、10リットルバケツを2つ用意しておいた方が誰でも運びやすくなります。

被災すると、あまり清潔でない環境で暮らさなければならないこともあります。ペットボトルから水分をとる時には口をつけず飲み、炊き出しのおにぎりはラップに乗せて握り、お裾分けする食料もラップで包むなど、安全性を守るために注意しましょう。濡れティッシュやキッチンペーパーも、手や体を拭いたり、掃除に使えます。

まな板が洗えない・使えない時には、キッチンばさみで食材を刻む「空中調理」、直接手でもたずポリ袋やラップ越しにする「紙一重調理」、ポリ袋を利用して漬け込む・まぶす・こねる・混ぜるの「ポリ袋調理」など安全な方法で調理します。

台所からの減災術として大事なのは、食中毒をおこさないために菌を「つけない・増やさない・殺す」が三原則。除菌スプレーや熱湯をかけるのも賢明です。

普段から食品をストックする

災害時に備える食品のストックにはコツがあります。エネルギー源として役立つのは、乾麺、ラーメン、もち、粉類など。缶詰のいらぬ缶詰やビスケット、クラッカー、コーンフレークなどそ

のまま食べられるものも、いざという時に便利です。

たまねぎ、にんじん、ごぼう、芋類など日持ちのする野菜は日頃から常備しましょう。被災すると新鮮なものが手に入りにくくなるので、乾物、梅干し、海苔、海藻類、高野豆腐、切り干し大根、ドライフルーツなどを保存しておき、活用します。ただし、日頃から食べていないものは被災時にも食べられません。普段から食べ慣れておきましょう。

食品や飲料などのストックの原則は「先入れ先出し」。新しいものほど奥に置き、手前の古いものから使っていきます。賞味期限切れに注意して、1個使ったら1個補充する“ランニングストック”という考え方で回していきましょう。

とても重要なことは、大人と比べ子どもはまだ脳の発達が進んでいないので、脳の発達には必須アミノ酸が必要だということ。避難生活が長引き、それらが不足してくると発達が遅れるだけでなく後戻りすることもあります。あんこのはいった羊羹、炒り豆など豆製品を必ずストックし、被災した時には子どもにコンスタントにそれらを摂取させてください。

寝室から逃げられる準備を

就寝中に被災することを考え、スリッパや靴などは手近なところに置き、夏でも薄手でいいので長袖長ズボンのパジャマを着ましょう。寝室にはなるべく家具を置かず、置く場合には、タンスの上部につかえ棒をしたり天井まできっちりまる箱を乗せたりして倒れない工夫をします。窓のカーテンは長めにして常に閉じておきましょう。外から植木鉢などが飛んできて窓ガラスが割れても、カーテンが飛散を防いでくれます。

いくら避難袋・持ち出し袋を準備していても、押入れの奥にしまいでいたら緊急時に簡単に持ち出せません。まずはいつも使っているバッグに少し加えたものを「第一次避難袋」とします。それには小額単位のお金、銀行のカード、自分名義の通帳、印鑑、家の鍵など重要なものを忘れずに。次に、1、2日分の常備薬やケアクリーム、飴など甘いもの、歯ブラシ、塩など「健康にかかわる」ものを加えます。飴などは低血糖防止に。歯ブラシは、病気になるように常に口の中を清潔にするために。水ばかり飲むと低ナトリウム症になるリスクがあるので、塩も入れておきます。これらは防災のためだけでなく、持っていれば普段の生活にも役立ちます。

とげぬき、耳かき、輪ゴム、ひも、ルーペ、メジャー、小さいはさみ、ソーイングキット、箸など身の回りのものは小さなポーチにまとめ、バッグに入れておきましょう。自宅を離れたり助けを呼んだりする時の確認や護身用に、書き置きを残せるマジックインキ、



参加者と話す坂本さん

助けを呼ぶ笛や鈴、小さいライト、小さな水のボトル、粉塵を防ぐマスクなどもバッグに入れておきます。スカーフも1枚入れましょう。週刊誌にスカーフを被せればヘルメット代わりになり、子どもをだっこしたり、ケガをした時に腕を守るにも役立ちます。

日常生活の中で練習を

避難生活中に必要な生活用品もまとめておきます。大きさの違うポリ袋、ラップ、アルミホイル、ラジオ、充電器、ねじまわし、ガムテープ、食器など。棘やガラスから手を守るためには、軍手より園芸用の手袋がベターです。ペットの猫などと一緒に避難する時は、目の細かいランドリーバッグに入れて肩下げ袋に入れて運びます。

タオルは新品ではなく、よく水を吸う使い慣れたものを。刃物など危ないものはカバーしておきます。お花見の時に使うブルーシートやキャンプ用品、ロープ、ハンマーやボール、ジャッキなども用意しておきます。ロープはもやい結び(船を係留する時の、ゆるまない結び方)をできるように普段から慣れておきましょう。

震災の時に急に知恵が湧くのではなく、普段から考えたり準備したりしておくことで、いざという時に知恵となって役立つのです。日常生活の中で練習や準備が大切なのです。

情報はアナログで集約を

最近では、携帯電話やスマートフォンに頼りがちですが、充電できなかつたり、子どもだけが残されている時には、携帯機器の中に記憶させた情報が取り出せません。銀行口座や両親や親戚の連絡先、家族の持病や薬など大切な情報は誰でもわかりやすいよう、アナログな方法ですが一覧表などに書き出ししておく方が使いやすいと思います。

日頃から日常を大切にしながら暮らすこと、そして万一被災した時には日常に戻るために工夫することが大切ですが、がんばりすぎたはいけません。過酷な体験をした後に起こるPTSD(心的外傷ストレス障害)が被災者、特に子どもには深刻な問題となっています。一方で、心にキズが残った状態に留まるのではなく、災害という過酷な体験を経たからこそ人は大きく成長するというPTG(心的外傷後成長Post Traumatic Growth)も注目されています。

生き延びた知恵を糧に暮らし、次の世代へ伝えていきたいもの。どんな時でも生き抜く力をつけていきましょう。

被災時には有効な代用作戦(坂本廣子・坂本佳奈著「台所防災術」より)

照明器具には	500ccのアルミ缶をカッターで切り開いて開き、ロウソクを缶底に置いて、アルミをロウソクの反射板にする。	
調理器具には	工事用のベグ(ロープを通す穴のあいた金属製の棒、55cm以上)3本とコンクリートブロックでかまどに。普段から飯を鍋で炊く方法も知っておくこと。	
トイレには	1~2リットルサイズのペットボトルの上部3分の1を切り、漏斗のようにかぶせれば小便容器。ふたに押しピンで2、3個穴をあけるとシャワーの代わりに。大便は新聞紙を箱型に折って用を足し、ポリ袋へ。紙、便、尿で3分別して捨てる。	

イラスト：岩間 みどり

ミニワーク
ショップ

「地震ITSUMO講座」

永田 宏和氏

楽しみながら学ぶ防災教育



NPO法人プラス・アーツ理事長、株式会社iop都市文化創造研究所代表。企画・プロデューサー。竹中工務店を経て地域づくりのコーディネーターに携わり、ファミリーが楽しく学ぶ防災訓練「イザ!カエルキャラバン」を国内、海外で展開。
http://www.plus-arts.net/

阪神・淡路大震災から10年経った2005年、神戸市から、防災教育のプログラムを開発してほしいと依頼されました。次世代に伝える情報をきちんと集めようと、インターネットで調査し、震災体験手記を読んだほか、被災した167人の語り部のお話を絵解きし、読む人が独自の防災対策を考えられるよう『地震イツモノート』を発行。被災状況だけでなく、人の心の動き、地震直後から避難所の様子まで描き、話題の本となって10万部以上を販売しました。

その後、さまざまな調査を元に、楽しみながら学ぶファミリー向けの新しい防災訓練プログラム「イザ!カエルキャラバン」を企画しました。これまでに15ほどの都道府県で150回以上実施し、インドネシア、タイ、モンゴル、中米などにも広がっています。日本のオリジナルな防災教育として国内外に知られるようになってきました。

カエルキャラバンを始めた当初、被災者がたくさん出た震災のことを楽しみながら学ぶとは何事だ、と言われたのですが、楽しいと子どもは積極的になり、自分からやろうとし、何度もやりたがります。自主的に取り組み、復習できることは防災教育として大事だと考えています。

そのほか、体験手記をアニメにしたり、カードゲームやボードゲームなどの防災教育教材も開発しました。企業や地域の自主防災組織、学生、いろいろな世代へ講座を開いています。

キャンプの技が災害時に役立つ

東日本大震災以降、対処療法としての防災ではなく、日頃から火をおこせるか、ロープワークができるかなど、たくましく生き抜く力をつけることが重要ではないかと指摘されるようになりました。

最近、都市部に住んでいる子どもたちが、近所で基地づくりをしている様子をあまり見かけません。災害時に必要なことは

ほぼキャンプで学べると思い、防災教育にキャンプ系サバイバルプログラムを加えた「レッドベアサバイバルキャンプ」を、神戸の消防署の有志の人たちとともに始めました。

1日目に学び、2日目にチャレンジするプログラムなのですが、課題をクリアしたら“技缶(わざかん)バッジ”をもらえます。例えば火をおこすことができたなら、火おこしクリアのバッジを渡すのです。子どもたちはバッジが欲しくてがんばり、楽しくサバイバルの方法を学んでいくのです。真の防災力をつけるためには、人間力を養うためのプログラム開発が大切ではないでしょうか。

身の回りのもので救命措置を

今度は、震災などで万が一ケガをした時の具体的な手当ての方法を実演していきましょう。

先程、坂本先生が普段からAEDの使い方を学習しておくといいとおっしゃいましたね。突然、心肺停止をした人の命を救うには、「早く119番通報」「早く心肺蘇生」「早い除細動」「二次救命処置」の4つが連続性をもって行われることが必要です。これらは一人でするのではなく、近くにいる数人の協力を仰ぎます。その際に、「すみません、誰か119番に電話して」ではなく、「そのあなた、電話してください」と“指名して”やってもらうのが最も早く確実です。

ケガをして血が出ている時には、直接圧迫止血法をほどこします。例えば、腕から出血している時は、まず、きれいな布を傷口にあて、強くおさえます。傷口を心臓より高くするのがコツ。感染を防ぐために、直接、傷口に触れないこと。ポリ袋を使って処置するのもいいでしょう。被災地などでは包帯も三角巾もないのが普通でしょうから、普段から大判ハンカチやポリ袋を持っておくのが役立ちます。ネクタイを使って止血する時は、結び目が傷口にあたらないう傷口の反対側に結びます。

骨折した時の添え木は、折りたたみ傘でも雑誌でも新聞でも構いません。それを大判ハンカチやネクタイなどでしばります。腕を折った時に三角巾の代わりになるのは、スーパーなどでもらうレジ袋。片側をさいて、そこに患部をいれ、首から吊るします。こんなふうに応急処置のワークを創意工夫して使ってみよう。



永田さんと参加者の交流



ケガの応急処置のワークショップ

伝言ダイヤルを練習して

災害時に、安否確認や連絡する方法には、災害用伝言ダイヤル(171)への電話、携帯電話などの公式メニューから「災害用伝言板」にアクセス、インターネットから災害用ブロードバンド伝言板へアクセスなどの方法が整っています。

このような災害用伝言サービスは、毎月1日と15日、1月1~3日、防災週間(8月30~9月5日)、防災とボランティア週間(1月15~21日)に体験利用ができますので、あらかじめ確認してお

きましょう。日頃から使い慣れていなければ、災害時にはスムーズに動きません。

応急手当や防災グッズ、連絡方法など、都市住民にとって重要な防災の知識や技、避難生活のエピソードや知恵は、「地震ITSUMO.com」(http://www.jishin-itsumo.com)のサイトで公開していますので参照してください。

家具の転倒防止については本誌p5の「住まいの基礎知識」でも紹介していますのでご覧ください。

第2部 減災を体験しよう! サバイバルラリー

シンポジウム会場では、日頃から備えておくとい身近な防災グッズが多数展示されていたほか、地震に強い住まいづくりや防災関連の広報パネルの展示、津波や竜巻を実験する装置などが置かれ、それらのブースをまわりながら、災害の発生や減災を体験するラリーが行われました。それぞれのブースをまわってスタンプを押してもらおうと、「防災おやつ」をプレゼント。大人も子どもも楽しみながら、減災やサバイバルのコツを学びました。

展示協力: 気象庁大阪管区気象台、大阪市耐震改修支援機構、大阪市危機管理室、大阪市都市整備局
防災おやつ提供・協力: 株式会社アオバ



地震に強い住まいづくりはどうしたらいいのか。筋交いの入れ方と役割、屋根と建物の関係など、住宅模型を題材に教えてもらいました。



気象庁は天気予報だけでなく、緊急地震速報や津波警報、津波注意報、竜巻注意情報などでも重要な役割を果たしていると聞きました。



ペットボトルを使って竜巻を発生させる実験、ガラスケースの中で津波伝播の仕組みを再現したり、地震による液状化を再現したりする実験など興味深いブースがたくさんありました。



サバイバルラリーを修了するともらえる「防災おやつ」。子どもでも開けやすく、手を汚さずに食べられるパッケージで、被災時にもとりやすい食品です。



それぞれのブースをまわりながら、シールを集めていくスタンプラリー方式。楽しみながら防災を学ぶ親子づれの参加者もいました。



地震に備える 「家具の転倒防止策」

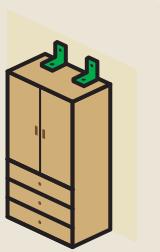
阪神・淡路大震災の時に住宅内でケガをした人の半数近くが家具等の転倒・落下によるものでした。東日本大震災で大きな揺れに見舞われた東京でも、タンスの上のものやテレビ、パソコンが落下してきました。地震の時のケガを減らすため、家具の転倒防止の方法を紹介します。

(監修：NPO法人プラス・アーツ 永田宏和理事長、参考：地震ITSUMO.COM)

家具の転倒防止用の器具類はホームセンターで買えます。比較的簡単にできる方法で、転倒防止力の強い順に紹介します。(①～④)なお、その他の家具等の落下防止策についても紹介します。(⑤～⑦)

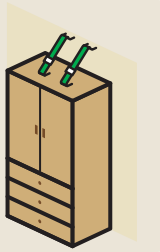
① L字型金具

壁側に2か所、家具側に2か所穴があいているL字型金具で、家具と壁を固定する方法が最強です。ただし、石膏ボードの壁には利きません。その場合は、石膏ボードを支えている背面の軸に対して横板を打ち、そこにL字型金具を止めますが、施工は難しいので工務店に頼む方がよさそうです。家具に穴があくことは避けられません。



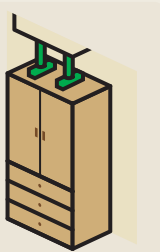
② ベルト式器具

チェーンやベルトのような器具で、家具と壁を固定します。両面テープがついたタイプが開発され、施工は楽になりました。ただし、壁紙が壁面に密着していないと壁紙ごとにはがれてしまう危険性がありますし、ベルトを30度以下の浅い角度で突っ張らないと効果が出ません。



③ ポール式器具

家具と天井の間を、ポール式器具(つっぱり棒)で固定します。家具と天井の間が30cmから40cm程度の間隙でしっかり突っ張れば強いのですが、隙間がそれ以上に高くなると弱くなります。デザイン的にはやや不細工で、家具の長手方向の横揺れに弱いのが難点です。



ポール式器具の代わりに、家具の上にダンボール箱を置いて、天井の間隙をなくす方法も有効です。ダンボール箱と家具の間に、滑り止めシートか粘着性マットを入れて家具と段ボールを一体化することが重要です。

④ ストッパー式器具

タンスの前部分の底にストッパー式器具(家具転倒防止安全板)を入れ、タンスを後ろの壁にもたせかけるようにします。大きな地震だと倒れる危険があり、フローリング床材は滑りやすいので、粘着性のゲルか滑り止めマットを底面に貼ると、滑らなくなり強度があがります。



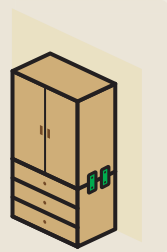
地震に備える 「家具の転倒防止策」

- ① L字型金具
- ② ベルト式器具
- ③ ポール式器具
- ④ ストッパー式器具
- ⑤ 平型連結金具
- ⑥ 飛び出し防止金具
- ⑦ 落下防止器具



⑤ 平型連結金具(連結用シール)

複数の家具を重ねて置いている時は、平型金具で上下を連結し、一体化させます。最近では特殊な繊維の接続用シールのような製品も出ており比較的連結が簡単にできるようになったので参考にしてください。



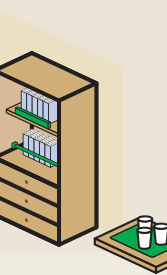
⑥ 飛び出し防止金具(引き出しストッパー器具・開き戸ストッパー器具)

引き出しが飛び出ないように、側面から前面にかけて飛び出し防止金具を取り付けます。食器棚は、開き戸があいて中身が出てこないよう、扉の前面に飛び出し防止器具を取り付けます。食器の下には滑り止めシートなどを敷いておくとも摩擦で食器が飛び出しにくくなります。



⑦ 落下防止器具

書棚などから本が飛び出ないように、滑り止めシートや落下防止器具を取り付けます。最近ではすべり止めシールが販売されており、棚板面の前の部分にシールを貼ると本が飛び出しにくくなります。



L字型金具が使えなくても、「ポール式器具とストッパー式器具」の両方を使えばL字型金具の強度に匹敵します。そんなあわせ技も実践してみましょう。

どんな家具でも下に重いもの、上に軽いものを収納するのが原則。寝室にはなるべく家具を置かない方が安心ですが、置く場合には寝る位置に家具が倒れてこないように配置を工夫します。

パソコン機器は、粘着マットやストラップ式器具で机と固定しましょう。薄型液晶テレビは、対応可能な製品であればテレビとテレビ台をボルトで固定します。それができない場合は、テレビ本体とテレビ台をストラップ式器具や粘着性マットで固定します。テレビ台にキャスターがついている場合は、ゴム製キャップなどをして転がらないようにしておきましょう。

大阪 くらしの 今昔館 news

volume.47
平成25年3月

右幅に1月から6月の、左幅に7月から12月までの年中行事にちなんだ絵を描く。1月はお年始にやってきた鬼である。袴を着てかきこまる様子が面白い。2月は初午。伏見稲荷の千本鳥居の前で、狐が骨休めをしている。3月はお雛さまの逢瀬。男雛の呼びかけに、女雛がそっと箱をあけて出てくる。まるでロメオとジュリエットの一場面のような。4月はホトギスの声に耳をかたむける座頭。夜空には三日月が浮かぶ。5月は節句人形の神功皇后か。産婆の診察を武内宿禰が見守る。6月は水浴びをする女に迷い、地上に落ちた雷。ふくよかな女にとちめられて雷の顔は真っ赤である。

7月からは左幅である。花火の閃光の合間に美人の手を握る人。よく見ると天神さまのようだ。8月は餅つきをする月の兎。餅を返す名人芸がシルエツトで描かれる。9月は長火鉢で栗を焼いてはぜたところ。10月は紅葉狩りを楽しむ達磨。10月5日は達磨忌にあたる。11月は餅をほおばる神農。神農は医薬と農業の神で、11月22、23日には薬種商が集まる道修町で盛大に祭りが行われた。12月は売り物の茶筌に風がからまった茶筌売り。空也堂の僧が正月に飲む大福茶の茶筌を売り歩いたとされ、瓢箪で拍子をとることから鉢

叩きとも呼ばれた。

普段は恐れられる存在の鬼も雷も神も、とぼけた顔で人間臭い失敗をし、まるでヒトコマ漫画を見るような楽しさである。その一方で、盲目の座頭の上に輝く月や、子どもとは無縁の茶筌売りにからまる風の表現にしみじみとした情感が漂う。早い筆致による的確な描写に、絵師の確かな技量がうかがえよう。

作者の耳鳥齋(?~1802)は江戸後期の大阪の絵師である。本名を松屋平三郎といい、京町堀に住んだ。最初造り酒屋であったが、家産を食いつぶし、骨董商を営んだと伝える。戯作も書き、義太夫のちやり浄瑠璃の名手でもあったというから、絵も最初は旦那芸の一つであったのだろう。絵を鶴沢派の大坂の絵師、小柴守直(1706~1762)探春齋に学んだとされる。『浪華なまり』(1802刊)は流行の画人として「耳鳥齋の戯画ハ鳥羽の僧正もはだしにて」と記している。それを裏付けるように耳鳥齋の画・文による多くの絵本が刊行されている。上方役者絵の嚆矢とされる『絵本水也空』(1780刊)を筆頭に、『画話耳鳥齋』(1787刊)、『絵本かつらかさね』(1803刊)、『絵本古鳥図加比』(1805刊)などが知られている。大阪に根付いた笑いの文化のルーツを示すものとして、今日、耳鳥齋の評価は高まっている。本図は「なにわユーモア画譜展」(4月20日~5月26日)に出品される。

(摂南大学教授 岩間 香)



3月 雛の逢瀬

11月 神農

各134.0×15.4cm(関西大学図書館蔵)

今や今昔館は国際的観光スポット(?)

外国人を惹きつける「着物体験」を支える町家衆の活躍

今昔館の人気メニュー 着物体験

大阪くらしの今昔館9階の近世展示室では、着物の着付コーナーがあり、来館者が着物姿で江戸時代の町並みを散策することができます。利用者の中心は大阪に観光に訪れる外国人旅行者で、利用者数は平日で150名～180名、休日ともなると200名を超える人気ぶりです。休日には外国人に交じって、家族で訪れる日本人の子どもたちの可愛い着物姿もみられます。

今昔館の着付けはじゅばん襦袢や帯あげなどは省略し、服の上から着物を着るもので、気軽に利用していただけます。

もともとは、着物を着て江戸時代の町並みを見学すれば、本当に江戸時代にタイムスリップしたように気分が盛り上がり、より今昔館を楽しんでいただけるという発想からでした。

平成20年、女性用の着物をハンガーラックに掛けて展示室の一角に設置しました。当初は、着付けマニュアルを見ながらセルフサービスで着ていただくシステムで、ボランティアの女性が居合わせれば着付けのお手伝いをしていました。着物のハンガーラックは、ある日は表通りの呉服屋の店先、ある日は裏長屋の路地、ある日にはワークショップコーナーへと、その日の混雑具合やイベントによって移動させていました。

外国人による着物利用が増え始めたのは、平成22年の秋頃からです。外国人には、マニュアルを見ながら着物を着ることは難しく、着付けの需要に対応するためコーナーを固定化し、着付けボランティアを増員し、常駐してもらうことになりました。同時に草履や巾着などの小物もそろえて、現在の着物コーナーの形が整いました。

利用者の傾向

平成23年7月から、利用者の実態を把握するため、受付時に国籍、年齢、性別を記入してもらうようにしました。それらを集計すると、着物体験利用者の傾向が明確になりました。



着物コーナーの様子

統計を取りはじめて以降、月により増減はありますが、利用者は増加しています【表1】。調査開始当初の平成23年7月は夏休み期間ということもあり、約1,200人が利用し、8月はさらにその数を上回りました。秋になると利用者数が一旦落ち着きますが、年が明けると徐々に利用者が増加し、平成24年の7～8月は23年同月の2～3倍の利用者数になりました。

国籍では韓国人が全体の約半数を占め、次に日本人と台湾人がほぼ同じ割合で利用しています【表2】。「その他」の国々をみると、オーストリア、ドイツ、フランス、スペイン、ベルギー、イスラエル、タイ、香港、マレーシア、シンガポール、ニュージーランド、カナダなど多種多様な地域、国から来館いただいています。今や今昔館は国際観光スポットといえるでしょう。

男女比は、圧倒的に女性が多く、7割以上を占めています。とはいえ、最近では、韓国や台湾の男性グループの利用も目立ちます。女性用の着物に比べ男性用の着物は数が少ないため、不足気味になっています。

年齢層は、日本と外国人とで相違がみられます。外国の方は友人同士での旅行者が多く、20代～30代が中心です【表3】。これに対し、日本人は10歳未満の子どもの利用が中心です【表4】。

表1 着物体験利用者の推移

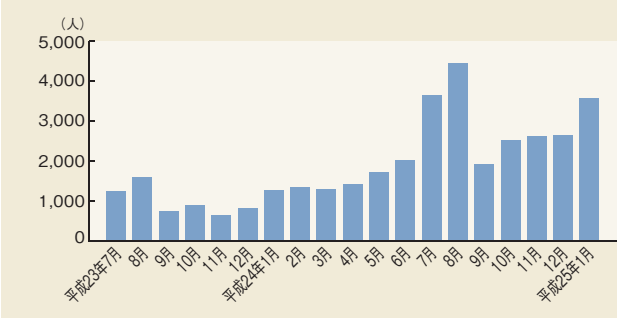


表2 国籍

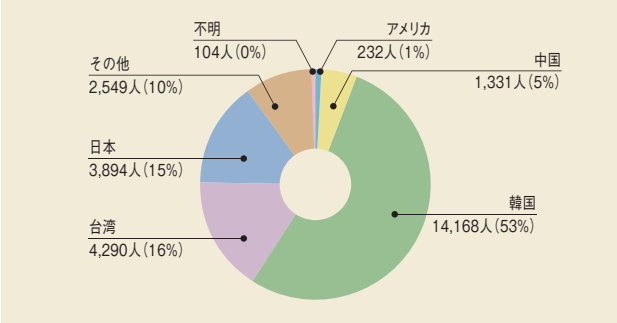


表3 年齢(日本人を除く)

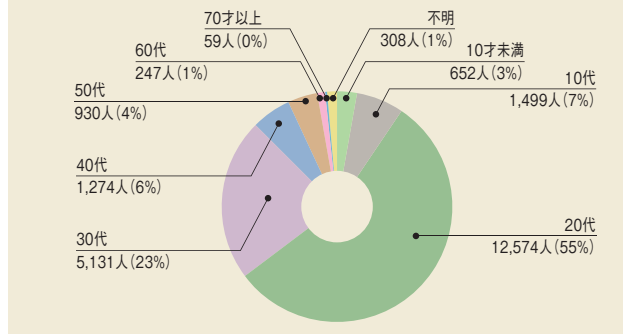
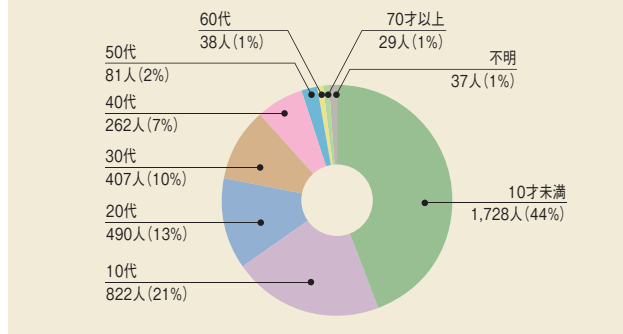


表4 年齢(日本人)



韓国人に大ブームの着物体験

着物体験の利用者は韓国人が中心だとわかりました。しかし、何故こんなに大勢の韓国人が急に今昔館の着物体験を利用するようになったのか…。スタッフ一同不思議でした。後でわかったのですが、今昔館の着物体験が韓国の人気ブロガーによって紹介されたことがきっかけだったようです。江戸時代の町並みを背景にした着物姿の写真が人気を広めたようです。(韓国人留学生談)

さらに詳細な情報を得るために、昨年の夏、韓国人利用者を対象にヒアリング調査を行いました。ヒアリングの内容は、①今昔館の着物体験を何で知ったか、②着物体験のどこに魅力を感じるか、です。

①の質問については、インターネットで知ったという人が圧倒的でした。今や、人気ブロガーに限らず、今昔館で着物体験をした人達がそれぞれ自分の着物写真をネットで発信しています。そのため、「着物」「大阪」「観光」「博物館」などのキーワードで検索すると今昔館がヒットするそうです。

②の「着物体験の魅力は何か?」という質問に対しては、「異文化体験」という回答が圧倒的でした。見たり聞いたりするだけでなく、体験できることが重要なポイントとなっているようです。日本の着物を着て、伝統的な町家の座敷に正座して、キセ



着物姿を楽しむ外国人旅行者



ルや扇子、団扇を手にとって異文化体験をすることは他の施設にはない魅力だといいます。他人と違う体験、他人と違う写真を撮りたい彼らは、裏長屋の共同便所で便器にまたがるポーズなど、日本人の私たちではなかなか思いつかない個性的な写真を撮っています。そうした写真をネットで見て、「おもしろい!」と感じた人たちが次々と今昔館へ来て来てくれています。

外国人が抱く古きよき日本の風景イメージは、現実のまちに見つけることは困難です。京都には伝統的な町並みが残っていますが、京都で着物体験をすると高額な費用がかかります。今昔館ならば、彼らのイメージにある日本の伝統的な町並みの中で、お金をかけずに気軽に着物を着て異文化体験ができるのです。

ボランティア「町家衆」の活躍

さて、この着物体験を支えているのが今昔館のボランティア「町家衆」です。常時、2人～3人の女性ボランティアさんが交替制でコーナーに待機し着付けをしてくれます。韓国人が大半なので、聞きかじりの韓国語、カタコトの英語、日本語を織り交ぜて「畳に上がる時は靴を脱ぐ」、「草履は踵を少し出して履くのが日本のスタイル」など、四苦八苦しながらも会話を成立させています。

着物コーナーは常に順番待ちの列ができていたため、一旦着付けに入ると、長時間休憩をとれないこともめずらしくありません。それでも、せっかくなので来てくれた外国のお客様に楽しんでいただくよう、みなさん笑顔で着付けをしてくださっています。

着付けだけではありません。人気が出るほど着物の利用回数が増えて、破れたり汚れたり、劣化が激しくなります。リサイクルショップに出かけ、格安な着物を探し、破損した着物を縫って修繕する、洗濯、アイロン等々。着物体験を支えるための地道な作業がたくさんあります。時には着物を一から縫ってくださる事もあります。日本人と比べて体格の良い外国のかたのなかには、サイズの合う着物がみつからず、着用を諦めていただく場合があります。それならば洋服生地で作るサイズを作ろうと、和風柄の生地を探して縫製していただきました。サイズが合わず諦めていただいていた方にも着物体験を楽しんでいただけるようになりました。こうしたボランティアさんの工夫と頑張り着物体験を、いえ、今昔館の国際化を支えていると言えるでしょう。

(大阪くらしの今昔館学芸員 深田 智恵子)

お知らせ 平成25年4月13日(土)より、着物体験のご利用が有料となります。お1人1回(30分間)¥200

あんじゅ メッセージボード Message Board

このページでは、「あんじゅ」や「住まい情報センター」に対するご意見や応援メッセージ、センターの活動やお知らせなど、さまざまな情報をお届けします。「あんじゅ」「住まい情報センター」へのご意見・ご要望、今後とりあげてほしいテーマ、開催してほしいイベントなどを、どしどしお寄せください。

住まい・まちづくり・ネットワークからのお知らせ

「タイアップ事業」平成25年度 第1回募集の実施団体が決定しました!

「タイアップ事業」は、住まい情報センターとNPO等、住まい・まちづくり関連団体とが、協働で実施するセミナーやイベントを通じて、市民のみならず住環境の質の向上、住まみち大阪の魅力向上のために実施する事業です。

開催の詳細は、あんじゅ誌上やホームページでご案内します。



団体名	事業タイトル(仮称)
NPO法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会大阪支部	今知っておきたい地震への備え～地震保険の活用とその限界
NPO法人 日本モーゲージプランナーズ協会有志 住宅ローンテラス	「住まいの安心安全」と「家計の安心安全」について学ぼう
NPO法人 集合住宅維持管理機構	その工事、本当に必要ですか? 今、しなければいけませんか? かしく判断、ながく住み続けるためのマンション給排水設備の大規模改修工事
整理収納相談ねっと・おーさか	整理収納で暮らしの環境改善セミナー いまさら聞けない!ハウスキューピングの基本
(社)大阪府宅地建物取引業協会 (公社)全国宅地建物取引業保証協会大阪本部	「知っていますか?値崩れしにくい住まいの賢い買い方」 ～資産価値を保つ物件選びのコツ教えます～
国土交通省近畿地方整備局	マンション管理について考えよう! ～管理組合・管理業者の役割など～
シニアすまいネット	「あなたは老後をどこで暮らしますか?」自分にあった老後の住まい ①自宅生活か、住み替えか!～自分が選べる高齢者住宅とは ②ぎっと見つかる!安心の住まい～庶民のための高齢者住宅フェスティバル
相続SOS	シニアのためのすまいと暮らしのスタートダッシュ講座
(社)日本商環境設計家協会	こどもたちと創る商店街【コミュニケーションシップ】
NPO法人 もく(木)の会	自分の家をつくろう!～家の骨組みも知ろう～
(社)日本インテリアデザイナー協会 関西事業支部	第2回キッズデザイン 親子でつくるわたしの“あかり”

平成25年度 「タイアップ事業」第2回企画提案を募集します!

平成25年10月から26年2月までに開催する企画を募集します。
詳細については「住まいまちづくり・ネット」検索 をご覧ください。



みんなの声

住まいCOLLEGE「マネー&モノの整理術」

● 買う前によく吟味する、ものの価値を考える機会になりました。本当に気に入ったものだけで暮らすという言葉が心に残った。お話がとてもわかりやすく、すぐりかかれそうな気がします。



住まいのQ&A

**Q 「耐震等級」とは
何ですか?**

**A 地震に耐える
住宅性能の基準の一つ**

平成12年10月に本格的な運用が始まった「住宅性能表示制度」は、さまざまな住宅性能に関するルールを定めており、構造の安定に関する項目として挙げるのが「耐震等級」です。住宅性能表示制度と耐震診断によって、建物がどの程度の地震に耐えられるかを示し、建築基準法の耐震基準を満たしていれば「等級1」、その1.25倍なら「等級2」、1.5倍なら「等級3」となります。等級が高くなるほど、より大きな力に耐える住宅であることを表し、これらの耐震等級を取得した住宅は、等級に応じて地震保険の割引が受けられます。必ず等級を



高くすべきというより、住宅の建つ地域や地盤などを考えながらどの程度の設計・施工にするか施工主が選択するのに役立つといえます。

耐震等級では、「損傷防止」と「倒壊等防止」という2つの目標が達成できる構造躯体の強さがあるかどうかそれぞれ表示しています。「損傷防止」とは、数十年に一回程度起こりうる大きさの力に対して、大規模な工事を伴う修復を要する著しい損傷が生じないようにすることをいいます。「倒壊等防止」とは、数百年に一回程度起こりうる大きさの力に対して、損傷を受けても人命が損なわれるような壊れ方をしないようにすることをいいます。

具体的には、数十年に一度発生する地震とは、東京など住宅の密集する都市で震度5強程度、数百年に一度発生する地震とは、同じく震度6強から震度7程度を想定しています。

(次回は「電磁波」とは何ですか?)

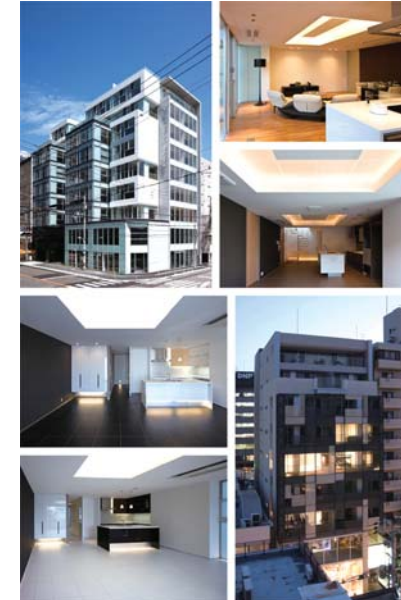
大阪市からのお知らせ

第26回 大阪市 ハウジングデザイン賞の 受賞住宅が決定しました。

大阪市では魅力ある良質な共同住宅・長屋・戸建の集合や既存建物を有効活用した改造住宅、維持管理の良好な住宅等を表彰する「大阪市ハウジングデザイン賞」を毎年実施しています。平成24年度は右の2住宅が受賞しました。

詳しくはこちら▶
<http://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000038276.html>
■ お問い合わせ先
都市整備局企画部住宅政策課
民間住宅助成グループ
TEL: 06-6208-9228

大阪市ハウジングデザイン賞 MIRABELL NORTH・MIRABELL SOUTH (西区南堀江1丁目・賃貸)



撮影:松村 芳治

大阪市ハウジングデザイン賞 特別賞

グランドメゾン靫公園 (西区京町堀2丁目・分譲)

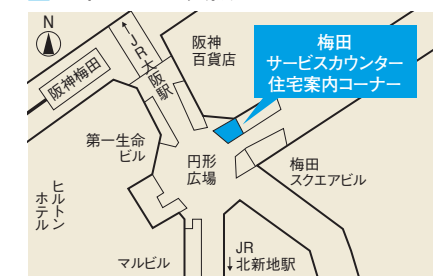


撮影:(株)仲和 木原 慎二

市内3カ所にある大阪市サービスカウンターで広報誌「あんじゅ」をはじめ、住宅関連パンフレットの配布等を行っています。

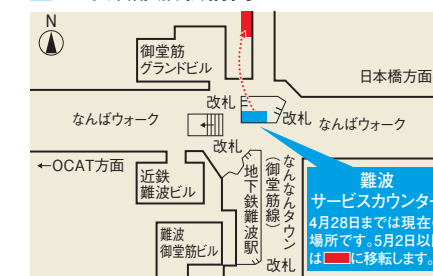
サービスカウンターの営業時間: 平日/9時～19時 土・日・祝日/10時～19時 ※臨時休業する場合があります。

■ ディアモール大阪B1F



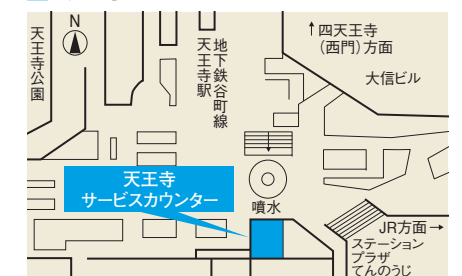
TEL: 06-6345-1103 FAX: 06-6345-0873

■ 地下鉄難波駅構内B1F



TEL: 06-6211-0874 FAX: 06-6211-0869

■ あべちかB1F



TEL: 06-6773-0874 FAX: 06-6773-6600